

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 12 月号

2023年12月4日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

令和 5 (2023) 年9月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年11月24日発表) より

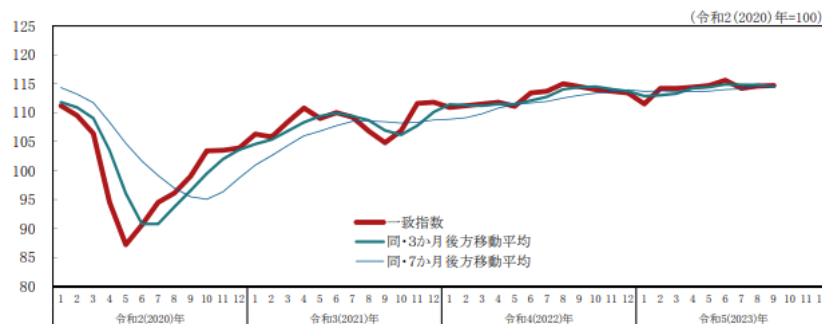
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202309rsummary.pdf>

- ① 9月分 CI (令和2(2020)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：108.9、一致指数：114.7、遅行指数：106.2

	9月分 C I (令和2(2020)年 = 100)	
	速報	改訂
先行指数	108.7	108.9
一致指数	114.7	114.7
遅行指数	105.7	106.2

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ :

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 5 (2023) 年9月分 (速報) (令和5年11月8日公表)」 pdf :

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202309psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202309report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（11月）（内閣府、令和5年11月22日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/11kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【下方修正】

- ・ 景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

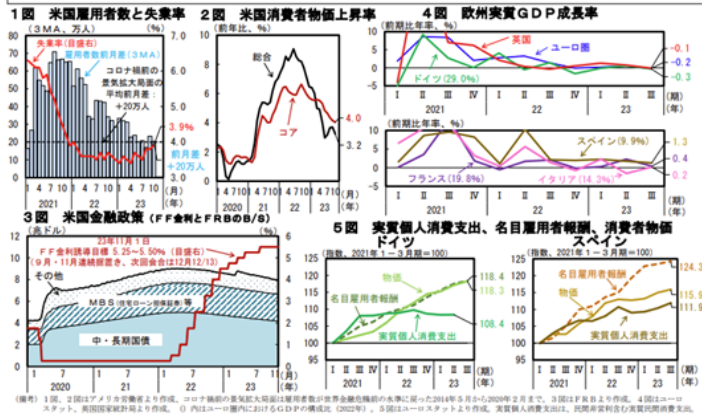
[先月の判断：景気は、緩やかに回復している。]

（先行き）

- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

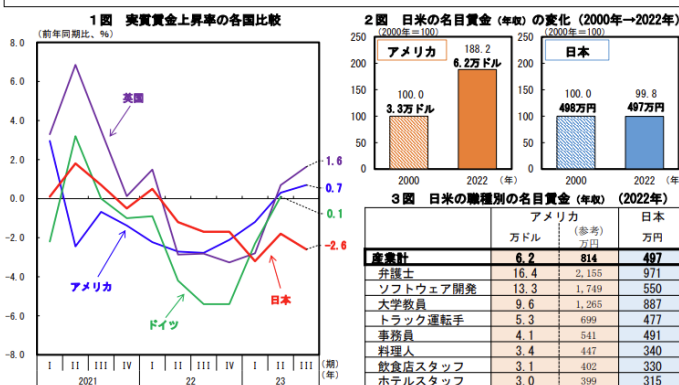
今月の指標(5) 欧米経済の動向

▶ アメリカは、雇用の増勢がコロナ禍前の景気拡大局面の平均水準まで落ち着きつつあり、物価上昇率が低下傾向にある中で、政策金利はこのところ据置き（1図、2図、3図）。
 ▶ ユーロ圏経済、ドイツ経済及び英国経済は弱含み（4図）。
 ▶ ドイツの個人消費は、2021年後半以降、横ばい。背景には、名目賃金の伸びが物価上昇を超えない状況。一方、スペインは、名目賃金の伸びが物価上昇を上回り、個人消費は持ち直し基調、経済も堅調（5図）。



今月の指標(2) 賃金動向の各国比較

▶ 我が国の実質賃金上昇率は昨年からマイナスが継続。一方、欧米では足下で前年比プラスに転化（1図）。
 ▶ 長期的にみると、アメリカでは20年間で平均名目賃金が1.9倍に増加した一方、我が国では横ばい（2図）。職種別に比較すると、弁護士、ソフトウェア開発、大学教授、トラック運転手などで差が大きい（3図）。



- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」（議事要旨）TOPページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和5年9月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年11月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

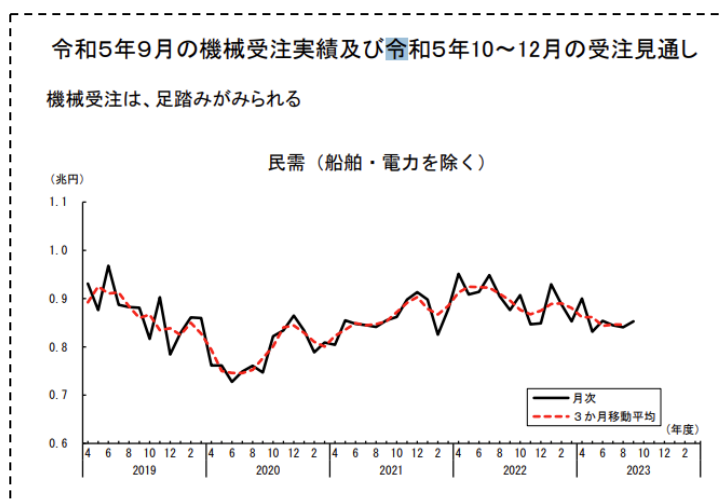
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2309juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2023（令和5）年8月前月比14.0%減の後、9月は同15.1%増の2兆8,729億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比4.9%増の1兆241億円、官公需は同63.0%増の4,347億円、
外需は同18.2%増の1兆3,135億円、代理店は同20.1%減の1,012億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2023（令和5）年8月前月比0.5%減の後、9月は同1.4%増の8,529億円となった。
このうち、製造業は同1.8%減の4,082億円、非製造業（除く船舶・電力）は同5.7%増の4,448億円となった。

(以下図表は「令和5年8月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2309gaiyou.pdf>



期・月	対前月（期）比									(単位：%)
	2022年 (令和4年) 10-12月 実績	2023年 (令和5年) 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	2023年 (令和5年) 6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績	
受注総額	△1.0	△8.7	7.1	3.4	△4.7	0.2	9.8	△14.0	15.1	
民需	△8.3	7.1	△2.2	8.4	△4.7	3.2	26.6	△23.7	4.9	
〃（船舶・電力を除く）	△4.7	2.6	△3.2	△1.8	0.5	2.7	△1.1	△0.5	1.4	
製造業	△10.6	1.9	1.1	△2.5	△3.8	1.6	△5.3	2.2	△1.8	
非製造業（除く船舶・電）	2.1	3.2	△8.8	△0.8	4.8	9.8	1.3	△3.8	5.7	
官公需	△3.6	19.9	12.2	3.1	7.6	△2.9	0.7	△22.3	63.0	
外需	2.4	△21.4	10.7	1.4	△3.8	△6.9	1.6	△7.1	18.2	
代理店	1.4	0.1	0.6	△4.9	1.5	19.5	△7.9	10.1	△20.1	
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△2.1	0.4	△0.0	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2023年9月末時点の調査。

▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年9月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2309juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～（経済産業省 2023年11月30日発表）

【2023年10月分】鉱工業指数の動向（速報）より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020_202310sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020_202310sj.html

－ 生産は一進一退 －

- ・ 今月は生産、出荷、在庫、在庫率ともに上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、11月は低下、12月は上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は一進一退で推移している。

・生産は、前月比1.0%の上昇。

上昇業種：電子部品・デバイス工業、自動車工業、電気・情報通信機械工業等
低下業種：鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業、
パルプ・紙・紙加工品工業等

・出荷は、前月比0.2%の上昇。

上昇業種：電気・情報通信機械工業、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業等
低下業種：鉄鋼・非鉄金属工業、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業等

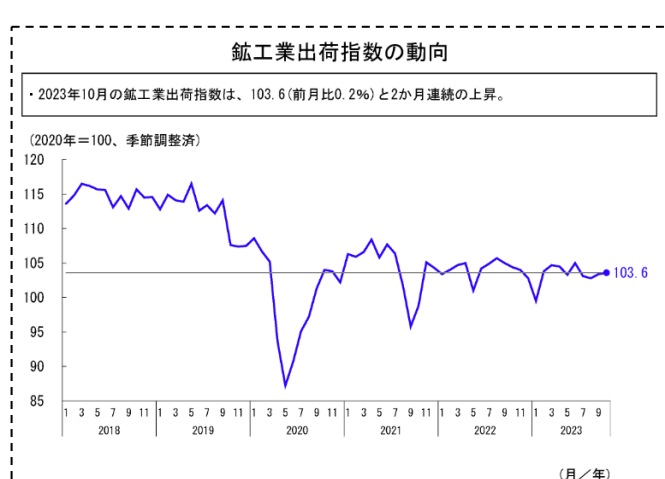
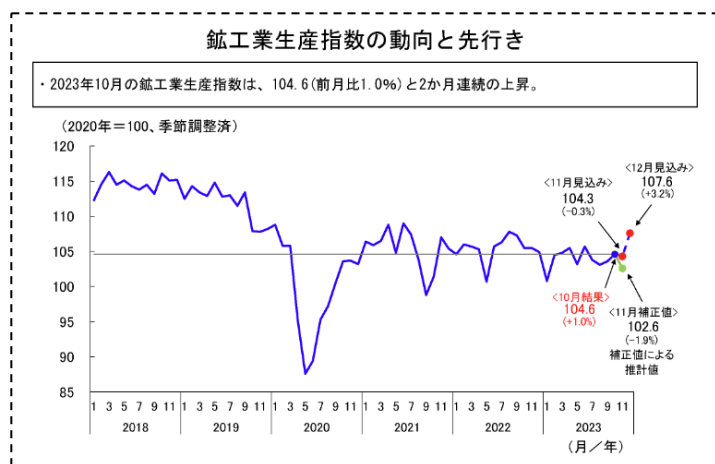
・在庫は、前月比0.8%の上昇。

上昇業種：自動車工業、無機・有機化学工業、鉄鋼・非鉄金属工業等
低下業種：生産用機械工業、石油・石炭製品工業、窯業・土石製品工業等

10月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20231130_1.html

（解説）10月の鉱工業生産は、電子部品・デバイス工業や自動車工業等が上昇したことなどから、全体として前月比1.0%と、2か月連続の上昇。基調判断は、「一進一退」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数（最新の）「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

経済解析室ニュース（サービス業・製造業の解説・分析レポート・統計）

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年11月30日発表より抜粋)

【2023年9月動向概況】

- ・ **2023年9月のグローバル出荷額は**
4,028億円、前年比95.4%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**
受動部品 (前年比92.4% 1,806億円)、接続部品 (同94.1% 957億円)、
変換部品 (同95.7% 705億円)、その他の電子部品 (同109.3% 558億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**
日本 (前年比115.3% 965億円)、米州 (同96.1% 441億円)、欧州 (同98.3% 417億円)、
中国 (同93.4% 1,453億円)、アジア・その他 (同79.6% 744億円) となった。

1. 月別出荷金額 (2023.11.30発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	7月		8月		9月		4月-9月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,622	97	3,827	98	4,028	95	21,708	96
(日本)	821	109	866	114	965	115	4,895	109
受動部品	1,705	96	1,774	98	1,806	92	10,109	92
コンデンサ	1,215	98	1,264	99	1,280	93	7,194	93
抵抗器	157	90	162	93	164	88	949	91
トランス	42	91	39	82	41	87	258	96
インダクタ	261	99	275	99	288	92	1,516	93
その他	28	62	32	77	31	87	191	75
接続部品	892	92	885	92	957	94	5,191	94
スイッチ	358	104	372	104	392	99	2,135	104
コネクタ	530	86	509	86	562	90	3,034	88
その他	3	98	3	98	3	82	21	106
変換部品	550	97	666	100	705	95	3,457	99
音響部品	26	105	28	118	28	95	153	105
センサ	195	91	205	98	218	100	1,195	95
アクチュエータ	328	100	433	100	459	93	2,108	101
その他の電子部品	474	113	500	105	558	109	2,949	111
電源部品	229	111	242	100	255	94	1,466	114
高周波部品	244	114	257	110	303	126	1,483	109

2. 地域別出荷金額 (2023年度)

地域別出荷金額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	7月		8月		9月		4月-9月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,622	97	3,827	98	4,028	95	21,708	96
日本	821	109	866	114	965	115	4,895	109
米州	411	95	473	98	441	96	2,584	98
欧州	395	116	413	113	417	98	2,410	108
中国	1,274	91	1,333	94	1,453	93	7,397	90
アジア他	715	89	736	84	744	79	4,396	87

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上